

令和5年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市ふれあいパーク乗鞍	所管課 TEL	生涯学習課 0263-32-1132		
所在地	松本市安曇4855番地100	設置年月	平成15年		
施設設置目的	水力発電施設周辺地域の福祉の向上及びコミュニティーづくりと市民の生涯学習の推進を図る。				
施設概要・設備	多目的ホール、カルチャー教室、畳室、調理室、団らんホール、事務室、多目的トイレ、屋根付き広場、外部倉庫、駐車場、陶芸窯				
指定管理者名（選定方式）	ふれあいパーク乗鞍管理委員会(特命)				
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5か年)				
指定管理者の 主な業務	(1) 施設及び設備の維持管理に関する業務 建物・設備・駐車場他敷地内の保守管理、警備、小破修理、図書貸し出し (2) 施設の運営に関する業務 施設の利用許可・取消、利用料金・減免に関する業務、日報・実績報告書の作成・提出、 大野川小・中学校児童生徒の保護育成と安全管理に関する業務				
利用料金制の導入	あり 利用料金制委託料併用方式				
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比(%)	対前年比(%)
	年間施設利用者数(人)	1,818	2,768	152.3%	152.3%
	年間施設利用件数(件)	155	217	140.0%	140.0%
	(特記事項) 利用目標は前年度現状維持				

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（令和5年度）				市の収支			
	年度計画額		収支実績額		令和5年度決算		令和4年度決算	
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	収入 (歳入)	指定管理料 施設利用料	1,670,000 130,000	指定管理料 施設利用料 預金利子	1,700,925 18,720 6			
	計	1,800,000	計	1,719,651	計	0	計	0
支出 (歳出)	燃料費 水道料 電気料 ガス代 保守点検費 修繕料 通信運搬費 消耗品費 使用料及び賃借料 管理人謝礼 環境整備費 事務所経費 自主事業費	65,000 29,000 393,000 21,000 216,000 51,000 36,000 73,000 26,000 643,000 116,000 131,000 0	燃料費 水道料 電気料 ガス代 保守点検費 修繕料 通信運搬費 消耗品費 使用料及び賃借料 管理人謝礼 環境整備費 事務所経費 自主事業費	98,890 27,740 360,596 19,810 229,800 10,500 35,078 50,770 78,860 660,600 140,426 79,776 25,963	指定管理料	1,700,925	指定管理料	1,700,925
	計	1,800,000	計	1,818,809	計	1,700,925	計	1,700,925
損益		0		-99,158	差引	-1,700,925	差引	-1,700,925

(特記事項)

## 2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。  
 評価の手段は、実績報告書(毎月)及び事業報告書(年度終了時)の点検並びに立入検査(随時)等によるものです。

評価の基準	
A	(1.0) 高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7) 事業計画書(提案書)どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5) 事業計画書(提案書)どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分を確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.0) 不適切な部分を確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計  
62.2

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠	
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	松本市ふれあいパーク乗鞍条例及び施行規則に基づき、適切に施設管理・貸出しを行っている。	
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	松本市ふれあいパーク乗鞍条例に基づき開館時間や勤務時間が設定されていて、労働条件に問題はない。	
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	年に1度防災訓練を実施している。また関係者等に速やかに連絡できるよう連絡網を整備し、伝達訓練を行っている。	
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	仕様書に基づき保険に加入している。	
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	個人情報が記載された書類を適切に保管し、情報漏洩への対策を徹底している。	
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	情報公開や監査請求について理解している。	
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	年度ごとの収支は黒字となっている。	
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	枯葉清掃や除雪作業を住民の協力を得ながら実施している。	
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、施設運営方針を理解したうえで、適切に業務を行っている。	
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	施設の維持管理・貸館業務のなかで判断に迷う際は、市と連絡をとりながら対応している。	
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	事業計画書に基づき、平日14~17時まで管理人1名が在中している。その時間帯以外は、利用者の自主管理としている。	
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	ふれあいパーク乗鞍管理委員会規約で委員の役職(役割)が定められていて、それぞれの責任権限は適切である。	
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	管理人の在中時間を平日14~17時までとし、その時間帯以外、利用者の自主管理としているため負担軽減につながっている。	
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	事業計画書に基づき、必要に応じて事務処理研修を行っている。	
		経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	事業計画書に記載の経理及び事務処理等方針に基づき適切に行っている。
			16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	消防設備・自動ドアの点検等、専門知識や資格が必要な業務を第三者へ委託し、適切に維持管理している。
安全管理	17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	実績報告書を正確に作成し、期限までに報告している。		
	18 安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	年1回、防災訓練を実施している。	
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	対応すべき管理区域、業務範囲について理解したうえで、管理運営を行っている。	
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	地域住民が利用しやすいよう定期的にイベントを開催している。	
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	施設の貸出や維持管理業務を中心に適切に実行している。	
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	枯葉清掃や除雪作業を地域住民の協力を得ながら実施している。	
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	C	前年度と比較し利用者数が増えている。ただ新規利用者が少ないため、地域外へ向けて利用率向上のための取り組みを行ってほしい。	
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	B	利用者が利用しやすいよう環境整備を行っている。また施設に対する意見・要望があればその都度真摯に対応している。	
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	ユニバーサルデザインを取り入れた施設の特性を活かすため、通路に障害物を置くことがないよう備品や消耗品を整理している。	
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	B	通年、意見箱を置きアンケートを実施しているが苦情や要望等はない。	
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	日々の施設の維持管理業務を顧みて課題があれば解決していこうとする姿勢がみられる。	
	環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	B	部屋の照明や暖房の消し忘れがないよう呼びかけを行う等して、エネルギー使用量の削減に取り組んでいる。	
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	エネルギー使用量の抑制や必要最低限の消耗品購入により経費節減を行っている。	
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とより収入が確保できたか(又は、利用者を確保できたか)	4	B	年度単位で見ると収支は黒字である。	

### 3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	通年
	調査対象	施設利用者
	調査方法	アンケート箱、聞き取り調査
調査結果	アンケート回答者はいませんでした。 聞き取り調査でも好意的な意見が多く、要望・意見等はありませんでした。	
利用者からの意見 要望・苦情等	具体的な要望・苦情等はなかったため、本年度は満足してご利用いただけたと思います。	

### 4 指定管理者による自己評価

令和5年度の 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別大きな問題はなく、無事に運営できたと思います。</li> <li>・光熱費や消耗品費を最低限に抑え節約に努めました。</li> <li>・「のりくら高原ミライズ」策定以降、関係者による利用が増えています。利用者による自主管理の際は、最低限のマナーを守って利用してもらうよう呼びかけました。</li> </ul>
要望・苦情への 対応状況	
今後の目標	令和6年度から、学校の子どもの放課後利用が始まります。新規・既存利用者ともに、地域交流の場として快適に利用できるよう、適切な施設管理を行います。

### 5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準		
A	(1. 0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0. 7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0. 5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0. 2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】 前年度再開したサマーセミナーに続いて、フリーマーケットも再開した。市内外から80人程度参加し、前年度から50人増となった。地域住民による地場産物の販売を通して、地域活性化に貢献している点を評価できる。 毎年恒例の防災訓練には、地域住民を中心に40人程度の参加があった。地域全体の防災意識向上につながっている。</p> <p>【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】</p> <p>【総合的な評価】 地域住民の協力により、事業運営、施設の維持管理を行っている。その結果、地域のコミュニティ創出や経費節減につながっている。引き続き地域との良好な関係を保ちつつ、地域コミュニティの拠点として最大限効力を発揮できるよう管理運営してもらいたい。 施設利用者数は前年度と比較し約1,000人増となっている。これは「のりくら高原ミライズ」関係者による利用が増えたこと、新型コロナウイルスの影響がなくなりつつあることによるものと考えられる。そのため社会環境の変化による受動的な利用者増といえる。今後は、地域住民だけでなく観光協会とも協力し、地域外へ施設について広報する等、新規利用者を呼び込むような取り組みも期待したい。</p>
---

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
69.2

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
適正